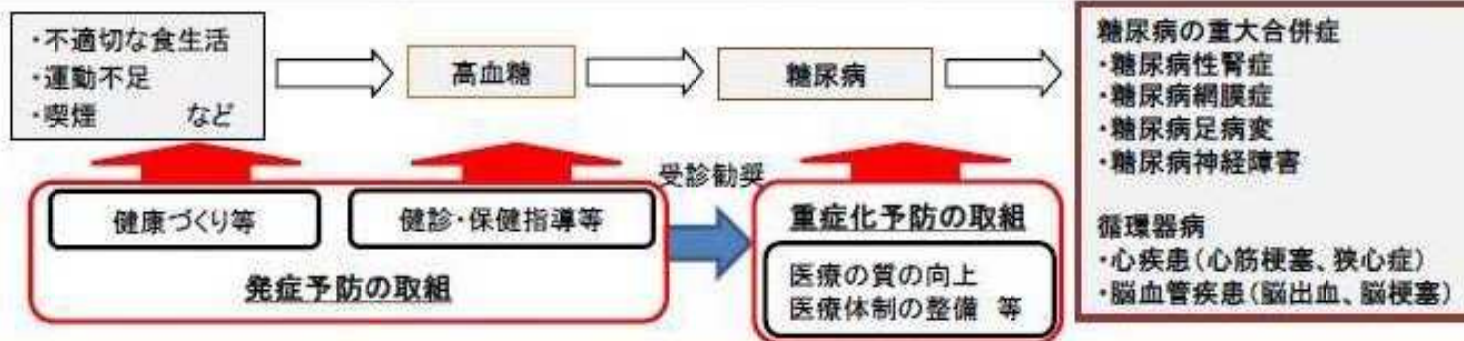


糖尿病対策（現状と今後の方向性）



健康日本21（第二次）

発症予防

- ポスターや優良事例の表彰などを通じた健康的な生活習慣についての普及・啓発活動
- 健康増進事業（健康教育、健康相談、訪問指導等）を通じた健康づくりの推進
- 特定健診、特定保健指導の実施
- 健診の受診率向上に向けた取組の推進
- 「標準的な健診・保健指導プログラム」を策定し、生活習慣改善を促す効果的な方法を提示
- 栄養・食生活、身体活動・運動等の各生活習慣に関する研究の推進

重症化予防

- 糖尿病の重大合併症の予防・管理に関する研究の推進
- 学会横断的な研究（学会横断的ガイドライン作成等）の推進（糖尿病学会、循環器学会、腎臓学会、眼科学会）
- 大規模糖尿病診療データベースの構築

(J-DREAMS)

透析予防

- 糖尿病性腎症重症化予防プログラム
- 腎疾患対策の推進（普及啓発、医療連携体制、診療水準の向上、人材育成、研究の推進等）

〔目指す姿〕

- 発症予防から重症化予防まで各段階に応じたシームレスな糖尿病対策を行う。
- 新規治療法の開発を目指した研究や専門医・かかりつけ医間、診療科間等の連携体制構築等を通じて、糖尿病医療の質の向上・均てん化を実現する。

愛知県の取組

		発症予防			重症化予防		
		健康な生活習慣についての普及・啓発活動	健康増進事業(健康教育・相談・訪問指導等)を通じた健康づくり推進のための取組	特定健診・特定保健指導の実施率向上のための取組	糖尿病の重症化予防についての普及・啓発活動	治療開始・継続のための体制整備に向けた取組	腎疾患対策推進のための取組(普及啓発、人材育成等)
		← 重症化予防プログラムの策定 →					
1	健康教育活動推進事業	○			○		○
2	食生活改善支援事業	○					
3	健康経営推進企業支援事業	○		○			
4	糖尿病指導者養成事業		○				
5	特定健康診査等指導者養成事業			○			
6	特定健診等普及啓発強化月間事業			○			
7	食育推進協力店登録事業	○					
8	あいち健康マイレージ事業	○		○			
9	市町村健康づくり技術支援事業		○				
10	地域・職域連携推進事業	○	○	○	○	○	
11	圏域健康づくり推進特別事業	○	○	○	○		
12	慢性腎臓病(CKD)啓発事業						○
13	糖尿病性腎症重症化予防推進事業 (市町村国保対象)				○	○	○
14	あいち健康プラザ事業 (健康度評価、実践指導、指導者養成研修研究開発、支援指導等)	○	○	○	○	○	○

図表でみる愛知県の糖尿病の状況

■ 推計患者数

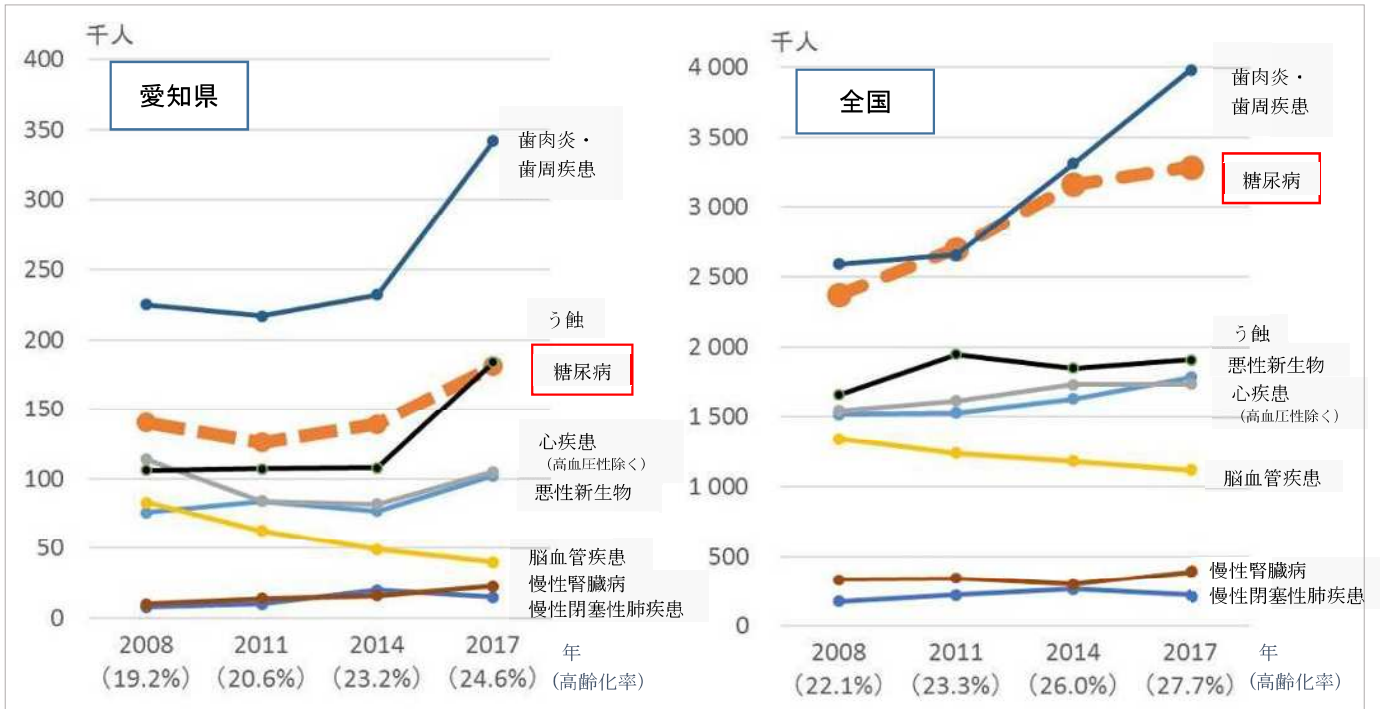


図1 主な傷病別総患者数 患者調査（厚生労働省）から作成、高齢化率は「高齢社会白書」（内閣府）から抜粋

* 総患者数は、患者調査日現在において、継続的に医療を受けている者（調査日には受診していない者を含む。）の数を次の算式により推計したもの。総患者数＝入院患者数＋初診外来患者数＋（再来外来患者数×平均診療間隔×調整係数（6/7））

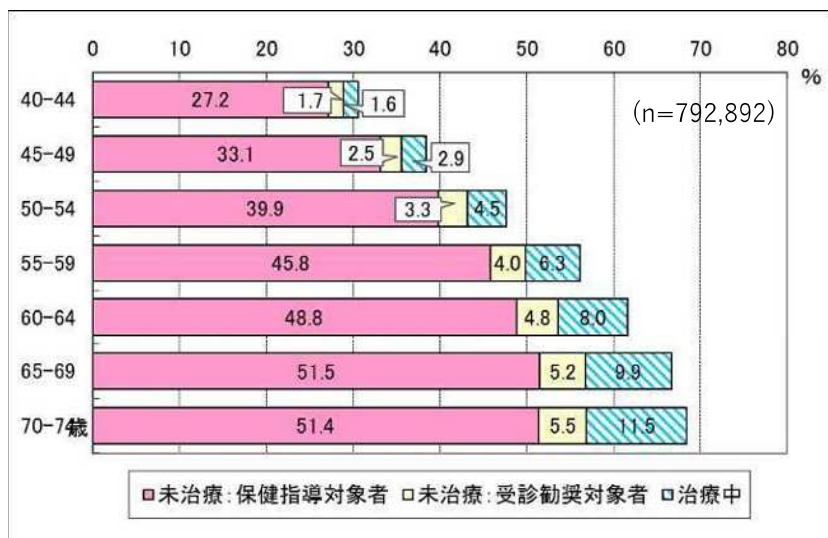
愛知県の糖尿病患者数は増加傾向にある。

■ 特定健康診査等の実施結果から

表

	特定健診受診率		特定保健指導実施率		内臓脂肪症候群該当者及び予備群の割合	
	率	順位	率	順位	率	順位
全国	51.4%	—	18.8%	—	26.6%	—
愛知県	53.1%	全国 14 位	20.3%	全国 29 位	26.0%	全国 12 位

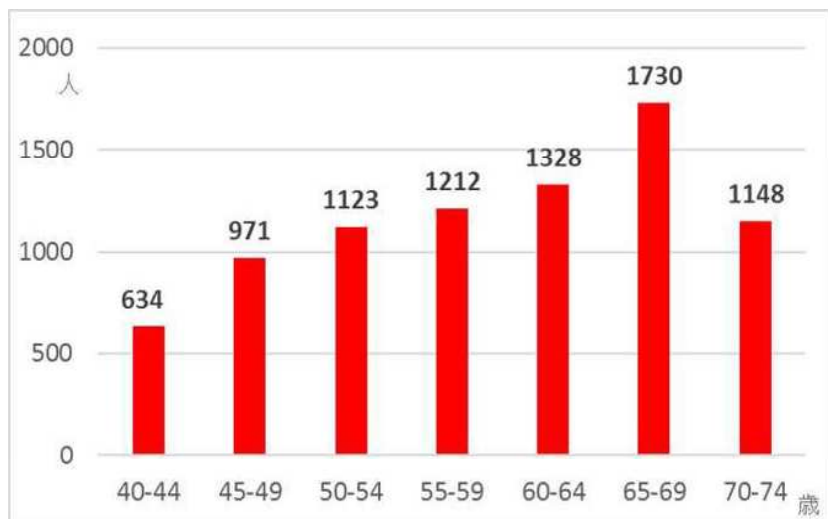
「特定健康診査・特定保健指導に関するデータ（2016年度）」（厚生労働省）から作成



保健指導対象者
HbA1c $\geq 5.6\%$ または空腹時血糖 ≥ 100 mg/dL
受診勧奨対象者
HbA1c $\geq 6.5\%$ または空腹時血糖 ≥ 126 mg/dL

各年代に受診勧奨対象者が一定の割合みられた。

図2 血糖検査結果の状況「特定健診・特定保健指導情報データを活用した分析評価（2016年度）」
（県健康対策課が収集した特定健診受診者約101万人のデータ）



高血糖治療者のうち、8,146人（16.4%）がHbA1c 8.4%以上の血糖コントロール指数不良者であった。

図3 高血糖治療者（49,713人）のうちHbA1cが8.4%以上の者の状況
「特定健診・特定保健指導情報データを活用した分析評価（2016年度）から作成」
（県健康対策課が収集した特定健診受診者約101万人のデータ）

■ 新規透析導入患者のうち原疾患が糖尿病性腎症である者の割合



新規透析導入患者の原疾患の約4割が糖尿病性腎症であった。

図4 「わが国の慢性透析療法の現況（2017年末）」（日本透析医学会）から作成

糖尿病性腎症重症化予防推進事業

令和元年7月23日
国民健康保険課

1 事業目的

国保保険者である県内すべての市町村が糖尿病性腎症重症化予防の取組を実施するとともに、実施事業をより円滑にかつ効果的に推進することを目的として、**会議及び研修会を開催**する。

【糖尿病性腎症重症化予防の背景】

○ 糖尿病性腎症は、糖尿病の合併症の一つであり、重症化すると人工透析が必要となり、患者の生活の質を著しく低下させるだけでなく、医療経済的にも大きな負担となることが問題となっている。

○ 国では、**健康日本21（第2次）**において、糖尿病性腎症による年間新規透析導入患者数の減少等を数値目標として掲げており、また、**「経済財政運営と改革の基本方針2015」**（平成27年6月30日閣議決定）において、重症化予防を含めた疾病予防等に係る好事例を強力に全国に展開することとされ、さらに、平成27年7月10日に開催された**日本健康会議**で採択された「健康なまち・職場づくり宣言2020」の中でも、生活習慣病の重症化予防に取り組む自治体数の増加が目標とされている。

○ このようなか、**厚生労働省**は日本医師会及び日本糖尿病対策推進会議と連携協定を平成28年3月に締結するとともに、**同年4月**には「**糖尿病性腎症重症化予防プログラム**」を三者で**策定**した。

○ こうした動きを踏まえ、**本県**においても国保保険者である県内すべての市町村において糖尿病性腎症重症化予防の取組が実施できるよう、県医師会、県糖尿病対策推進会議、愛知県糖尿病性腎症重症化予防の3者の合意のもとに「**愛知県糖尿病性腎症重症化予防プログラム**」を**平成30年3月に策定**した。

2 事業の概要

事業	事業内容
糖尿病性腎症重症化予防推進会議 (国民健康保険課)	有識者等を構成員として、県内の取組状況を共有し評価するとともに、 課題や対策、関係機関との連携体制について検討 する。(年2回) <構成員> 三師会、糖尿病・腎臓病専門医、有識者、愛知県保健所長会等
糖尿病性腎症重症化予防推進研修会 (国民健康保険課)	市町村及び保健所等保健事業担当者が糖尿病性腎症重症化予防事業の取組や糖尿病性腎症の病態、事業評価の方法について理解を深めるとともに、好事例等を共有することで、 事業を円滑かつ効果的に実施 できるように 研修会を開催 する。(年2回)
糖尿病性腎症重症化予防地域連携推進会議 (3保健所)	各市町村の糖尿病性腎症重症化予防事業実施促進と充実 を目的に、地区医師会や糖尿病・腎臓専門医などの関係機関との連携強化、体制整備を図るために 会議を開催 する。 <内容例> ・各市町村の取組状況及び課題 ・市町村、地区医師会等関係団体との連携状況及び課題 ・事例検討、課題への対応 <実施保健所> ・清須保健所・半田保健所・新城保健所 ※事業未実施で実施時期が未定となっている市町村が管内にある保健所を選定

【市町村の取組状況】

県国民健康保険課糖尿病性腎症重症化予防事業取組状況調査（H30.12.10）

医療圏	保健所	平成30年度	未実施市町村
名古屋・尾張中部	名古屋市	名古屋市	
	清須	北名古屋市	清須市、 豊山町 (H31) (未定)
海部	津島*	弥富市、あま市、愛西市	津島市、大治町 (H32) (H31) 蟹江町、飛島村 (H32) (H32)
	瀬戸	瀬戸市、尾張旭市、東郷町、豊明市、日進市、長久手市	
尾張西部	一宮	一宮市、稲沢市	
	春日井	春日井市、小牧市	
尾張北部	江南	岩倉市、大口町、大山市、江南市	扶桑町 (H32)
	半田	半田市、東浦町、美浜町、武豊町	阿久比町、 南知多町 (H31) (未定)
知多半島	知多	東海市、大府市、知多市、常滑市	
	衣浦東部	豊田市、みよし市	
西三河北部	西尾	岡崎市、幸田町	
西三河南部東	衣浦東部	碧南市、安城市、知立市、高浜市、刈谷市、西尾市	
東三河北部	新城		新城市、設楽町 (H31) (H33) 東栄町、豊根村 (未定) (未定)
	豊川	豊橋市、蒲郡市、田原市	豊川市 (H31)
計		40市町村	14市町村

() は、事業実施予定年度

※津島保健所管内では、平成30年度から、管内市町村が事務局となり「海部地区・津島市糖尿病性腎症重症化予防事業連絡調整会議」を設置している。

愛知県糖尿病性腎症重症化予防プログラムについて

参考

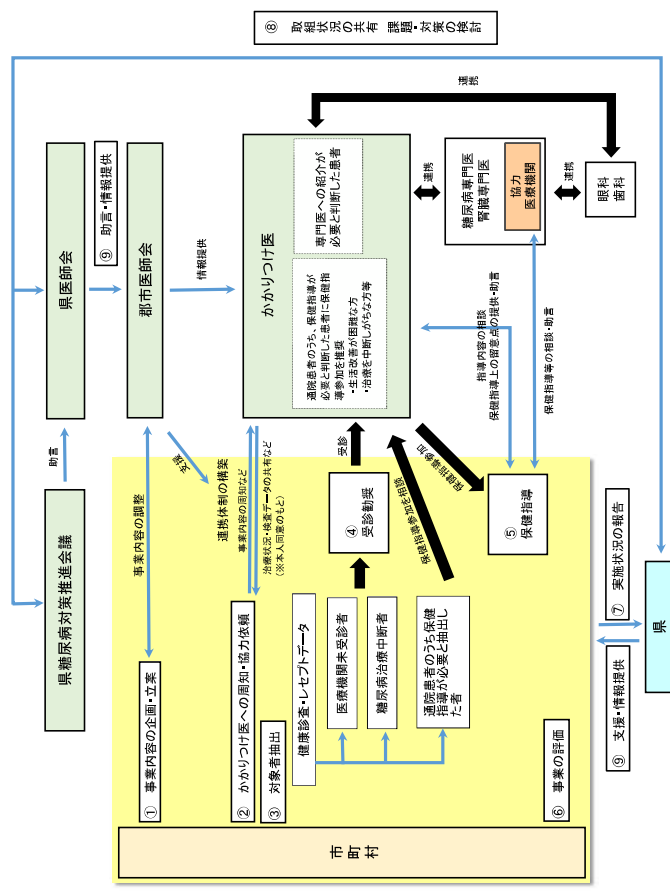
- 趣旨**
 県内すべての市町村が国保の保険者として実施することを旨とし、愛知県医師会、愛知県糖尿病対策推進会議、愛知県三者の合意のもとに「愛知県糖尿病性腎症重症化予防プログラム」を策定
- 目的**
 重症化するリスクの高い医療機関の未受診者・受診中断者に対し、適切な受診勧奨、保健指導を行い治療に結びつけるとともに、治療中の患者のうち重症化するリスクの高い者に対し、保険者が医療機関と連携して保健指導を行い、腎不全、人工透析への移行を防止する。
- 関係者の役割**
 (市町村)：被保険者の疾病構造や健康問題等の分析、地域の実情に応じた対策の立案、地域の医療機関等と連携した支援内容の検討及び取組の実施、実施内容の評価
 (県)：事業の進捗管理及び推進、愛知県医師会や愛知県糖尿病対策推進会議等と取組状況の共有、対策等について検討、愛知県糖尿病性腎症重症化予防プログラム推進協力医療機関との連携体制の整備
 (医師会)：県医師会は、郡市医師会に対して、国や県における動向等を周知、必要に応じ助言、県医師会及び郡市医師会は、会員等に対して県や市町村が行う取組を周知、市町村とかがかりつけ医との連携体制の構築の支援
 (愛知県糖尿病対策推進会議)：国や県の動向等について構成団体に周知、専門的観点からの助言、地域住民や患者への啓発、医療従事者への研修
- 対象者**
 2 型糖尿病で腎機能が低下している者
- 取組内容**
 - 健康診査等で選定された該当者に対する受診勧奨、保健指導
 - 治療中の患者に対するかかりつけ医等と連携した保健指導
 - レセプトデータ等による糖尿病治療中断者や健診未受診者の把握と受診勧奨、保健指導
- かかりつけ医や専門医等との連携**
 - 市町村において、あらかじめ郡市医師会と地域での推進体制を構築
 - 地域における関係機関との連携
 - 市町村が専門的な見地からの助言等が必要な場合は、愛知県糖尿病性腎症重症化予防プログラム推進協力医療機関に相談
 - 必要に応じてかかりつけ医と専門医が連携できるような体制を構築

- 糖尿病の合併症として網膜症による視力障害や歯周病及び歯の喪失等があることから、診療連携や医科歯科連携の仕組の活用
- 保健指導中でも糖尿病連携手帳等を活用し、出来る限りかかりつけ医及び専門医と市町村が実施状況を共有

7 円滑な事業の実施に向けて

本プログラムは、基本的な取組方策について示したもので、地域の実情に応じて柔軟に対応することが可能

愛知県糖尿病性腎症重症化予防プログラムの概要図



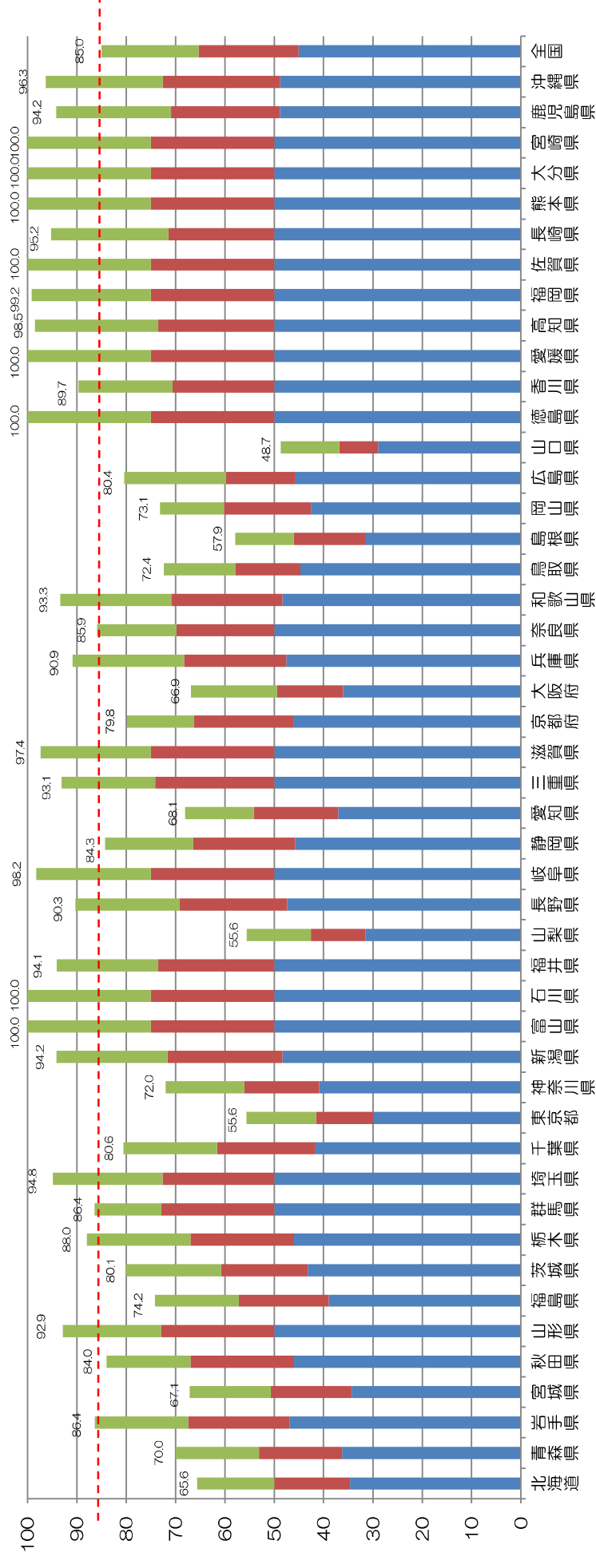
参考

平成31年度保険者努力支援制度（市町村分） 都道府県別市町村平均獲得点
（重症化予防関連：満点100点）

重症化予防の取組の実施状況（平成30年度の実施状況を評価）

以下の基準を全て満たす糖尿病性腎症重症化予防の取組を実施しているか。 ※取組方法については、受診勧奨、保健指導、受診勧奨、受診勧奨と保健指導を一体化した取組等の中から地域の実情に応じ適切なものを選択する。	50
① 対象者の抽出基準が明確であること	
② かかりつけ医と連携した取組であること	
③ 保健指導を実施する場合には、専門職が取組に携わること	
④ 事業の評価を実施すること	
⑤ 取組の実施にあたり、地域の実情に応じて各都道府県の糖尿病対策推進会議等との連携（各都道府県による対応策の議論や取組内容の共有など）を図ること	
以上の基準を全て満たす取組を実施する場合、その取組は以下を満たすか。	
⑥ 受診勧奨を、①の抽出基準に基づき全ての対象者に対して、文書の送付等により実施していること。また、実施後、対象者の受診の有無を確認し、受診が無い者には更に面談等を実施していること。	25
⑦ ①の抽出基準に基づき対象者のうち、保健指導を受け入れることを同意した全ての対象者に対して、面談、電話又は個別通知を含む方法で実施していること。また、実施後、対象者のHbA1c、eGFR、尿蛋白等の検査結果を確認し、実施前後で評価していること。	25

(得点)



■ 評価指標①～⑤ (50点) ■ 評価指標⑥ (25点) ■ 評価指標⑦ (25点)